

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	特別支援教育課長 三島 賢隆	電話番号	0852-22-5420
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	特別支援教育サポート事業		
目的	(1) 対象	特別な支援を必要とする幼児児童生徒及び保育・教育に携わる教員や保護者	
	(2) 意図	特別支援教育について、必要な支援、情報提供等が受けられるようにする。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校センター的機能充実 ・特別支援教育体制整備の推進 ・特別支援学校重度・重複支援 ・早期からの教育相談・支援体制構築事業 ・特別支援学校専門性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・自立と社会参加に向けた高等学校段階における特別支援教育充実 ・特別支援学校ネットワーク構築 		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		80.00	80.00	80.00	
式・定義	個別の教育支援計画を作成している学校の割合	実績値	76.00	74.00	80.00	79.80		%
		達成率		92.50	100.00	99.80		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値	0.00	0.00				
式・定義	計画を作成している公立幼小中高の数/該当生徒が在籍する公立幼小中高の数×100	実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	17,183	17,112
うち一般財源(千円)	2,905	2,602

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

幼稚園における「個別の教育支援計画の作成」は32.5%、小学校80.0%、中学校71.4%、高等学校26.3%（H26年度特別支援教育体制整備状況調査）であり、特に、幼稚園、高等学校の体制整備を進めていく必要がある。

就学前については、乳幼児の障がいの多様化に対する連携した相談及び支援体制の構築が求められている。また、多様化する障がいへの支援方法等についての関係者の研修ニーズが高いという現状がある。

高等学校については、特別な支援を必要とする生徒数が増加しているが、小・中学校と比較した場合、生徒本人に対する支援が少ない。体制整備は進みつつあるが、十分ではないという現状である。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・連携体制の構築に向け、学校、市町村教育委員会、特別支援学校（センター的機能）の連携ができてきている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・就学前、高等学校における支援が不十分。

②困っている状況が発生している「原因」

・校内等での支援体制の構築に向けた関係者の理解、連携の不足。
・多様化する障がいへの支援方法等について研修の機会が確保できていない。

③原因を解消するための「課題」

・支援体制の構築に向けた関係者の理解啓発及び幼小中高等の連携強化。
・研修の機会の確保。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・現在実施している事業の成果等を基に、特別な支援が必要な生徒が在籍する高校等への校内支援体制の構築を支援する。
・特別支援学校のセンター的機能をより充実させ、市町村や幼稚園、保育園等へ巡回相談等による直接・間接的な支援を行うことで、就学前の乳幼児に対する相談・支援体制づくりを支援する。
・研修等をとおして特別支援学校以外の学校等の専門性向上を図る。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）